

青葉区6大学連携
星槎大学
公開シンポジウム 2018

「介護のある暮らし」を考える ～自分のときに、大切な人のときのために～

主催：星槎大学附属研究センター 協力：横浜市青葉区

人生50年から90年、長寿は慶賀なことです。と同時に、介護のある生活も当たり前になりました。そこで、誰にも身近になった「介護のある暮らし」をどうするか!?が問われることに。「介護する側」も「介護される側」も明日は我が身です。在宅介護を通して、数々の体験から得た教訓や課題などをテーマに、当事者、家族、専門職、関係機関の方々によるシンポジウムを企画しました。知っておきたい、自分のときに、大切な人のときのために。どうぞご参加ください。

2018(平成30)年

1月13日(土) 13:30～16:45

青葉区役所4階 401会議室

横浜市青葉区市ヶ尾町31番地4 東急 田園都市線「市ヶ尾」駅 徒歩8分

参加費：無料 定員：80名(先着順)

司会：砂田 淳一郎 星槎大学専任講師
中安 恆太 星槎大学専任講師

■開会ご挨拶 井上 一 星槎大学 学長

■基調講演 「老妻だって介護はつらいよ ー私の時は私はいないー」

沖藤 典子 氏 ノンフィクション作家 NPO法人高齢社会をよくする女性の会副理事長
北海道大学卒 日本リサーチセンター調査研究部を経て執筆活動に。
主著：「女が職場を去る日」(新潮社) 「あすは我が身の介護保険」(同)
「沖藤典子の介護元気で日本あっ晴れ」(医歯薬出版)
「楽天力 上手なトシの重ね方」(清流出版)
「介護保険は老いを守るか」(岩波新書)

■パネル・ディスカッション 「どうする!?在宅介護」

パネラー 神山 敦志 氏 家族代表(青葉区在住)健康生きがいづくりアドバイザー
藤原 るか 氏 ヘルパー ヘルパーネット主宰 主著：「介護ヘルパーは見た」(幻冬舎)
藤田 和枝 氏 青葉区メディカルセンター 介護支援専門員・看護師
室山 孝子 氏 青葉区福祉保健センター 高齢・障害支援課長

コーディネーター 山口 道宏 星槎大学教授
横浜市福祉調整委員会委員 横浜市社会福祉法人施設審査会委員
近著：「無縁介護」「介護漂流」(いずれも現代書館)

■閉会ご挨拶 山脇 直司 星槎大学 副学長

お申し込み 電話・メール・星槎大学ホームページ申し込みフォームよりお申込みください。

電話：045-979-0261(星槎大学横浜事務局) メール：info@seisa.ac.jp

星槎大学ホームページ申し込みフォーム

<http://www.seisa.ac.jp/seminar/20180113.html>